

優良建設工事表彰

推薦書

下田土木事務所

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和3年度【第33-S0002-01号】見高沢砂防工事（堰堤工）（11-01）
工 期	令和3年11月2日 ～ 令和4年8月31日まで
工 事 概 要	掘削工 N=1式 機械岩掘削 V=310m ³ コンクリート堰堤本体工 N=1式 h=5.7m、W=22.16m、V=407m ³ （全体h=9.8m、W=27m、V=709m ³ ） 残存型枠（意匠）A=45m ²
受 注 者 名	とうかいけんせつ かぶしきがいしゃ 東海建設 株式会社
技 術 者 名	しまざき ふみゆき 島崎 文之
推 薦 理 由	<p>本工事は賀茂郡河津町見高地内において、砂防堰堤を打設するものである。</p> <p>当該箇所は利用者の多い、伊豆今井浜病院の敷地内を工事車両が通行する必要があり、また当初計画していた国道135号からの進入路は、国道の通行を妨げるとともに、病院利用者の出入りが重なってしまうことから、病院関係者との調整が必要であり、工事の際に病院利用者からの苦情も想定される工事であった。</p> <p>しかしながら、受注者はこれらの課題に対し、病院関係者と調整を行い、町道と接続している病院の私道を残土の運搬など大型ダンプの工事用道路として利用させていただき、また、入り口を変えたことで騒音が高くなる病院の私道入口付近の住民には個別に訪問し工程や施工体制などの説明を行い理解を得ることで、施工中に病院及び病院利用者、付近の住民からの苦情も一切なく、工事を完了させた。</p> <p>このように、地元調整を円滑に行い施工をスムーズに行うとともに、コンクリートの品質を確保しつつ、地山と堰堤本体との取り合わせが適切に行われているなど品質も適切に管理されている実績から、優良工事部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>・安全管理 病院関係者及び地元との調整を綿密に行いクレームが寄せられることなく安全に工事を完成させた 土工事の搬出土砂について過積載を防止するため、ICT建機を業者負担で利用し、安全管理の向上に努めた。</p>

写 真 等

着工前



完成 2工区へ引継 ブルーシート養生



今井浜病院敷地内の規制状況



品質管理(地山との取り合わせ)状況



過積載防止対策に3次元機器を使用



優良建設工事表彰

推薦書

沼津土木事務所

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和3年度[第33-K1902-01号] 一級河川沼川 大規模特定河川対策工事（函体工その3）
工 期	令和4年2月22日 ～ 令和5年3月20日
工 事 概 要	施行延長 L=48.9m 函体工（W=10.0m、H=4.5m、N=2連） 土留工（切梁・腹起し）W=145.6t
受 注 者 名	かぶしきがいしゃ やまだぐみ 株式会社 山田組
技 術 者 名	おやいで ひろし 小柳出 浩
推 薦 理 由	<p>本工事は、沼川新放水路の暗渠整備区間のうち函体20m（W10.0m×H4.5m×2連）を施工する工事である。当箇所の施工は、西側に隣接する工場により東側からの施工に限られ、幅約30mの仮設土留内で切梁を設置しながら地下約13mまで掘り下げ、多数の切梁のほか高圧電力線もあるなど施工制約が多い工事である。</p> <p>受注者は約1,900m³の大規模な場所打ちボックスカルバートの施工に際し、800m³超の底版部と頂版部のコンクリート打設を綿密な計画のもと予定通りに作業を完了させ、打継目の少ない構造物として品質向上を図った。なお、工事施工に当たり、占有者との調整や住民周知を充分行い苦情もなく無事故で予定通り完成させたことは、他の模範であり部長表彰の優良工事部門に推薦する。</p> <p>【1. 狭隘なスペースでの安全な施工】 切梁やそれを支える中間杭に囲われた複雑な仮設土留内の死角が多い作業場で、事故防止のためにクレーンブームの先端に高性能カメラを設置し、安全かつ円滑な施工に配慮した③。</p> <p>【2. 品質確保に向けた取り組み】 底版部と頂版部のコンクリートの打継目を無くするため、800m³超の日打設量を一回で打設する綿密な計画を立案し滞りなく施工した④。 また、ハンチ部のアバタ発生防止シート、ひび割れ対策用の養生シートや塗布材の使用のほか、土留矢板からの漏水等に対し函体部に汚水等の流入防止として見切壁による仮排水路を設けるなど細部まで配慮し施工した⑤。加えて、将来の品質確保にも目を向け、打継目やセパレーター部に止水効果のある材料を独自に使用し、施工後における函体の漏水や劣化防止にも取り組んだ⑥。</p> <p>【3. 工程管理に関する取り組み】 800m³超のコンクリート打設量を1日で施工するため、2班体制の施工サイクルを計算し生コンプラントやミキサー車の確保など、事前に綿密な調整を図った。なお、当箇所には2万ボルトもの高圧線が隣接工場まで埋設されており、試掘時に電力会社から急遽要請された管路の保護や補強への迅速な処理と毎週の点検結果の報告など丁寧な対応も評価される⑦⑧。</p>

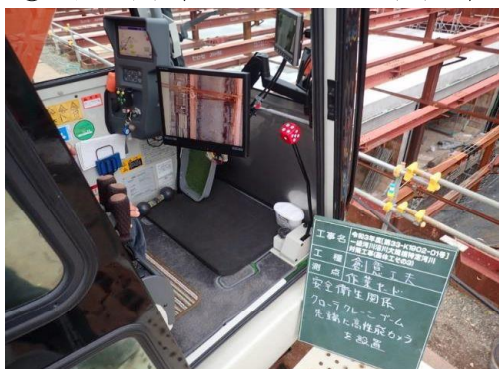
写 真 等



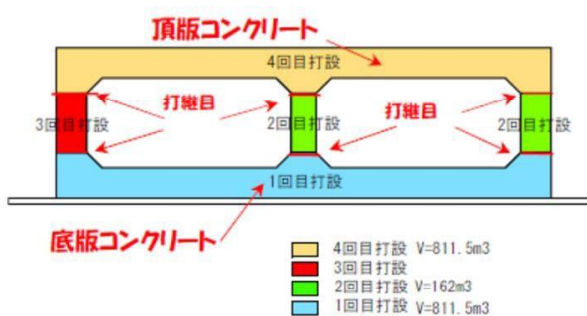
①完成写真（コンクリート出来栄え）



②完成写真（コンクリート出来栄え）



③狭隘スペースでの施工（高性能カメラ）



④品質確保のための打設計画



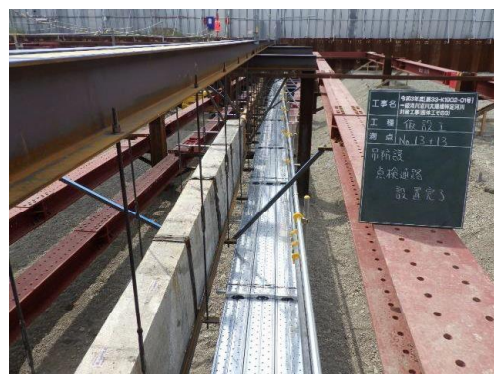
⑤見切壁による仮排水路



⑥打継目の止水材設置



⑦吊防護（東電埋設管の保護）



⑧吊防護（点検足場の設置）

優良建設工事表彰

推薦書

富士土木 事務所

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和2年度 [第32-D4600-01号] (一) 富士由比線橋梁改築工事 (新々富士川橋・上部工2工区)
工 期	令和2年10月13日 ～ 令和4年7月29日
工 事 概 要	富士川かりがね橋 鋼橋上部工 鋼7径間連続鋼床版箱桁橋 L=335m(P4-A2) 架設工 W=2,714t
受 注 者 名	<small>じえいえふいーたかだ・よこがわとくていけんせつこうじきょうどきぎょうたい</small> J F E ・ 高 田 ・ 横 河 特 定 建 設 工 事 共 同 企 業 体
技 術 者 名	<small>まつやま よしゆき</small> 松 山 喜 幸
推 薦 理 由	<p>本工事は(一)富士由比線富士川橋の渋滞対策として、上流側に整備している富士川かりがね橋L=741.5mのうち、右岸側L=335m(P4橋脚～A2橋台)の鋼橋製作・架設工事、及び、(主)富士川身延線木島橋の拡幅工事を行うものである。(写真1、写真2)</p> <p>受注者が行った以下の取り組みは、他の模範となるものであるため、部長表彰の優良工事部門に推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工済工区との出来形調整 桁製作時は、既に竣工している左岸側上部工(1工区)の端部断面を計測し、その数値を製作に反映させるとともに、規格値の50%を社内規格値に設定することで、出来形精度の向上に努めた。 ・工程調整と工期短縮 富士川河川内に仮締切を行って施工ヤードを設けるため、施工可能期間が渇水期(11月～5月)に限られることから、確実に完了できるよう、3パーティ同時施工を行って渇水期限内に完了した。(写真3)工事が多い中、他の県工事や国工事が近接して行われており、綿密な工程・ヤード調整が求められた。対応としてドローンで上空からヤードを撮影し、その写真に計画を記載して他工事との共有を行った。(写真4) ・安全対策 大規模工事かつ近接工事が多い中での安全対策で、単管とネットを組み合わせたクレーン旋回内立入禁止措置(写真5)や、異常出水監視、現場作業員へのVR安全教育を実施した。近接する国工事と合同で国交省安全パトロールも定期的に行い、事故なく竣工した。 ・地域貢献 市民向けの情報発信施設としてインフォメーションセンターを現場近くに設置して、事業内容や工事進捗を紹介し、311名の来場者があった。(写真6)また、現場見学会を地元住民や小中学生向けに計7回開催(写真7)、県市職員への現場視察を19回対応、さらに、地元ラジオ番組に出演し、事業PRと建設業への理解を深めてもらった。(写真8)

写 真 等



写真1



写真2



写真3

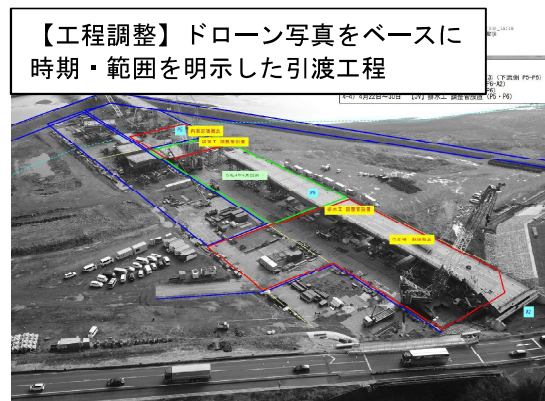


写真4



写真5



写真6



写真7



写真8

優良建設工事表彰

推薦書

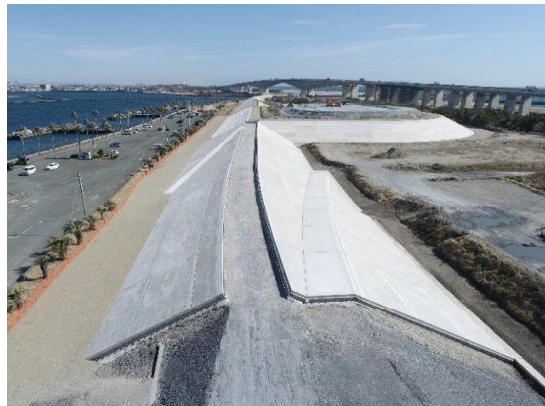
浜松土木事務所

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和3年度[第33-W2013-01号] 浜名港海岸高潮対策工事（防潮堤嵩上工3）（11-01）
工 期	令和4年3月18日 ～ 令和5年3月15日
工 事 概 要	防潮堤嵩上工 L=253m コンクリート被覆工 A=1,753m ² 地盤改良工 A=1,012m ²
受 注 者 名	おがさわら しょう かぶしがいしや 小笠原マル昇 株式会社
技 術 者 名	たきかわ かずや 滝川 和也
推 薦 理 由	<p>本工事は、地震・津波対策アクションプログラム2013の対象施設である浜名港海岸の新居今切口防潮堤を、L1津波対策として嵩上するものである。</p> <p>受注者は、近接する他工事との調整が必要となり、作業スペースが限られる中、ICTの活用や施工方法の工夫などを行い、優れた品質を確保した上で、所定の工期限内に完成させた。</p> <p>また、建設工事の担い手確保として、積極的に学生の職場体験を受け入れ、建設業に対するイメージアップを図るなど顕著であった。</p> <p>これらのことから他の模範となるため、優良工事部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>① ICTの活用 掘削や法面整形等をICT建設機械により施工し、作業の簡素化や施工の安全性を向上させ、高精度の出来形を確保することができた。</p> <p>② コンクリートの品質向上 コンクリートの余剰水と気泡を通過させる「透水シート」と、透過した余剰水を速やかに排出させる「排水シート」を使用してコンクリートを打設した結果、既定の強度を確保するとともに、コンクリートの表面は良好な仕上がりとすることができた。</p> <p>③ 現場の安全性向上 本工事箇所は、他工事と近接しており、工程調整や作業スペースが限定的である。そのため、仮設道路を造成し、作業スペースを確保するとともに、他工事との近接施工を回避し、安全性を確保することができた。</p> <p>④ 建設業の担い手確保 浜松工業高校の生徒を職業体験として受け入れ、建設業に対するイメージアップを図るため、様々な意見交換をし、担い手確保に努めた。</p> <p>⑤ 第三者の立ち入り防止 本工事箇所付近は、公園が近接しており、また、海岸にはサーファーが多く来訪されるため、事故防止を図るようネットを設置し、第三者の立ち入りを防止し、無事故で竣工することができた。</p>

写 真 等

【施工前】

【完 成】



① ICTの活用

② コンクリートの品質向上



② コンクリートの品質向上

③ 現場の安全性向上



④ 建設業の担い手確保

⑤ 第三者の立ち入り防止



優良建設工事表彰

推薦書

清水港管理局

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和4年度〔第33-W5510-01号〕清水港 ふ頭用地整備工事（新興津地区給電ピット設置工）
工 期	令和4年6月14日 ～ 令和5年3月17日
工 事 概 要	給電ピット工（昼間） N = 3箇所 配管工（夜間） L = 1, 312m 配管工（昼間） L = 1, 192m
受 注 者 名	こうなんけんせつ かがしきがいは 公南建設 株式会社
技 術 者 名	もちづき ゆうと 望月 悠登
推 薦 理 由	<p>本工事は、新興津地区コンテナターミナルにおいて、港湾利用者のRTG（タイヤ式門型クレーン）遠隔化計画に対応するため、コンテナヤード内に埋設配管、ハンドホール及び給電ピットを整備する工事である。</p> <p>港湾利用者が行うRTG遠隔化の改良期間に合わせ、かつ潮位の影響を受けるため床掘時には干満に合わせ地下水位が変動する状況の中で、計画的な工程管理の工夫が求められる工事である。</p> <p>受注者は週休2日を確保（現場閉所率実績28.9% > 28.5%（4週8休以上））しながら、適切な工程管理を行うとともに、NETIS登録商品を使用し品質の向上に努め、港湾荷役スケジュールの状況に応じ夜間施工をするなど工期の短縮を図り、苦情や事故もなく工事を完成させ他の模範となることから優良工事部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>①NETIS登録商品の使用により品質を向上（創意工夫、設計計上なし） コンクリート打ち継ぎ目への漏水対策としてNETIS商品を使用し品質の向上に努めた</p> <p>②NETIS登録の防錆剤を使用（創意工夫、設計計上なし） 潮風による鉄筋への塩害被害を防止するため、NETIS登録商品の防錆剤を使用し品質の向上に努めた。</p> <p>③保温効果がある合材シートを使用（創意工夫） 12月夜間の舗装工事において保温効果がある合材シートを利用し品質の向上に努めた。</p> <p>④コンテナターミナル内の安全対策 供用中コンテナターミナルでの施工のため、工事看板の設置、施工ヤードをバリケードで分離、合わせて大型カラーコーンによるコンテナトレーラー等への注意喚起を図り安全対策に努めた。</p>

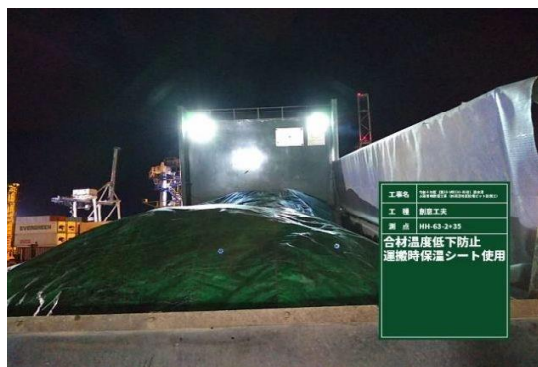
写 真 等



①NETIS登録商品によるコンクリート打ち継ぎ目での漏水防止対策



②NETIS登録の防錆剤を使用(右:防錆効果を確認)

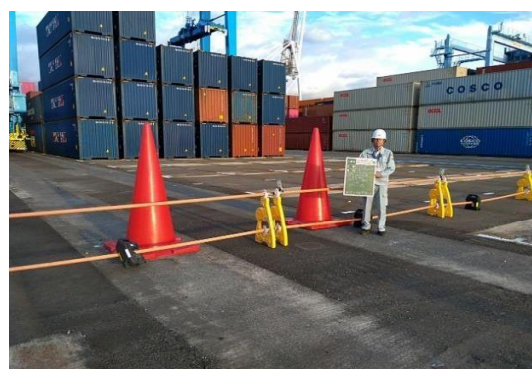


③合材温度低下防止保温シートを使用

③適切な温度で合材打設



④工事看板、バリケードの設置



④大型カラーコーンの設置

優良建設工事表彰

推薦書

御前崎港管理事務所

部 門	優良工事部門
工 事 名	令和4年度 [第34-W9901-01号] 御前崎港 カーボンニュートラルポート形成推進事業費工事 (係留ケーソン上部工)
工 期	令和4年10月19日 ~ 令和5年3月15日
工 事 概 要	上部コンクリート工 V=140m ³ 付属工 (係船柱・防舷材・梯子取付) N=1式
受 注 者 名	かぶしがいいしや ふるかむぐみ しずおかしてん 株式会社 古川組 静岡 支店
技 術 者 名	やまぐち こうじ 山口 康二
推 薦 理 由	<p>現在、御前崎港内に建設中の民間バイオマス発電所の燃料については、大型燃料運搬船にて定期的に荷役する計画である。本工事は、この運搬船が安全に着岸できるよう、先行して国土交通省が設置するケーソンに上部コンクリートおよび係留設備を施工するものである。</p> <p>当該箇所の施工は、海上であるため海象条件の影響を大きく受け、先行するケーソン設置工事の工程が遅れ、かつ大型燃料運搬船の第1船入港日が決定しているという制約条件の中、下記①～④の対応を行うことにより、工事を安全かつ円滑に進め、高い品質を確保しつつ工期限内に完成させたことは他の模範となることから、優良工事部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>〈地元との調整〉</p> <p>①バース会議 (港湾利用者の調整会議) での調整 毎週実施しているバース会議にて、工事内容を海運・荷役業者に逐次説明し、綿密な調整を行い工事を円滑に進めた。 〈施工に関する工夫〉</p> <p>②400t吊 大型重機船の使用 施工箇所は、海象条件の影響を大きく受ける場所であるため、海上クレーン作業時が最も危険となる。波による船体の振れ(ローリング=吊荷振れ)を低減させるため、大型起重機船を使用した。 ※設計上は200t吊り。施工承諾にて400t吊りの起重機船を使用。 〈品質管理に関する工夫〉</p> <p>③コンクリートの養生に関する工夫 樹脂膜系の養生剤「リポテックスC-1000」をコンクリート表面に散布することにより表面に樹脂膜を形成し、養生時の水分蒸発を抑制し乾燥収縮を低減させた。 〈現場内の事故防止〉</p> <p>④作業用重機の接触防止対策 作業用重機に接触防止装置(エスカルバー)を使用する事で、重機の背後にスペースを確保し、作業員が旋回する重機後端部との接触・挟まれ事故の撲滅を図った。</p>

写 真 等

着手前
※ケーソン移設(国土交通省施工)



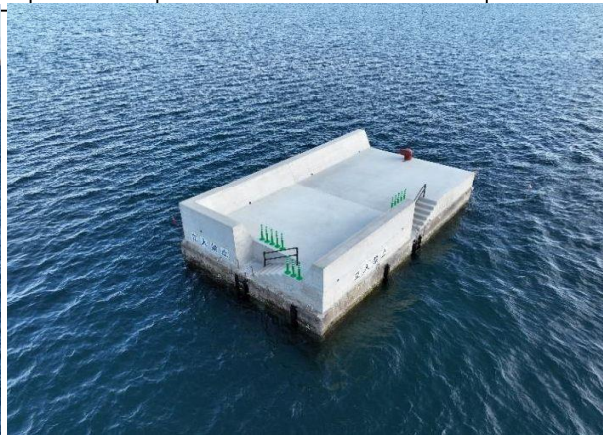
①バース会議での調整



③コンクリートの養生に関する工夫



完成
※上部工施工(本工事)



②400t吊 大型重機船の使用



④作業用重機の接触防止対策



優良建設工事表彰

推薦書

下田土木事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和3年度【第33-S0002-01号】見高沢砂防工事（堰堤工）（11-02）
工 期	令和4年3月29日 ～ 令和5年3月24日まで
工 事 概 要	コンクリート堰堤本体工 N=1式 一般部コンクリート打設 V=302m ³ h=4.1m、W=4.84m、V=302m ³ （全体h=9.8、W=27m、V=709m ³ ） コンクリート副堤工 N=1式 一般部コンクリート打設 V=99m ³ h=3.7m、W=17.5m、V=99m ³
受 注 者 名	とうかいけんせつ かぶしきがいしゃ 東海建設 株式会社
技 術 者 名	しまざき ふみゆき 島崎 文之
推 薦 理 由	<p>本工事は賀茂郡河津町見高地内において、砂防堰堤を打設するものである。</p> <p>当該箇所は、利用者の多い伊豆今井浜病院の敷地内を工事車両が通行する必要があることから、病院関係者との調整が必要となり、工事の際に病院利用者からの苦情も想定される工事であった。</p> <p>また、施工時期が河津で開催される桜まつりとも重複することから、交通集中での渋滞が予想され、施工に大幅な制限を課された。</p> <p>【工程管理・地元調整】 受注者はこれらの課題に対し、病院関係者と国道側の入り口を避けて町道に接続している私道を利用する調整を行い、私道から侵入できない大型の車両については、休日に作業を行うなど、工程を上手に組み立てた結果、工事によって発生する大型ダンプの往来によって病院利用者に与える影響を抑えることで、病院側や利用者からの苦情もなく、また地元との調整も献身的に的確に行うことで、施工をスムーズに完了させ、工期内に週休二日も確保した上で安全に工事を完了させた。</p> <p>このように、地元調整を円滑に行い施工管理を確実にまた、スムーズに行った実績から、優良技術者部門の表彰に推薦する。</p> <p>【施工管理・品質管理】 また、工期内に4週強度の確認が行えないものについては、現場養生用のテストピースを別途自社の企業努力で用意し、検査前に潰し試験を行って強度を確認する等、品質管理を含めた全体的な施工管理において、漏れもなく徹底した管理が行われていた。</p>

写 真 等

着工前



完成 ※ブルーシート部は別途施工中の3工区へ引継ぎ



交通安全対策 ハザードマップ



優良建設工事表彰

推薦書

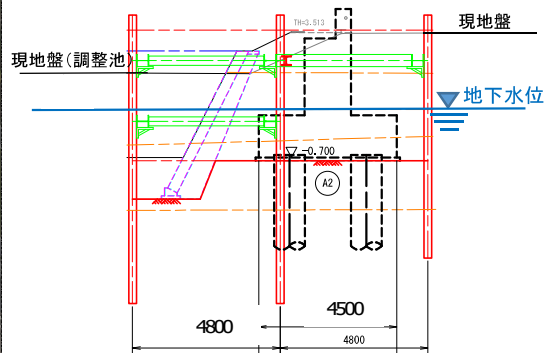
沼津土木事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和3年度 [第33-K1902-01号] 一級河川沼川 大規模特定河川対策工事 (2号橋下部工)
工 期	令和3年9月24日 ～ 令和4年7月20日
工 事 概 要	橋梁下部工 (L:4.5m×W:4.5m×H:4.9m) N=2基 場所打杭 (φ1000mm, L=7m, N=4本×2橋台) N=8本
受 注 者 名	かぶしきがいしゃ いしいぐみ 株式会社 石井組
技 術 者 名	いずみ こうじ 泉 浩二
推 薦 理 由	<p>本工事は沼川新放水路の整備に伴い新たに設置する2号橋の下部工事として、橋台2基、場所打杭8本を施工するものである。</p> <p>当箇所は住宅密集地であり、地域住民の生活基盤に特に配慮が必要とされ、近隣住宅や生活道路への安全対策、粉塵や泥水の飛散対策、振動・騒音対策が求められる。なお、当地域の地下水は高く、豊富な水資源を利用した井戸が多いため、工事には井戸水位への配慮に加え、地下水のある砂地盤の床掘には注意が必要である。</p> <p>本工事は地域の生活基盤に影響を与え兼ねないものであるが、担当技術者は迅速かつ丁寧な対応に努めた。さらに制限のある工事にも関わらず精度の高い出来形であったことから、部長表彰の優良技術者部門に推薦するものである。</p> <p>①井戸枯れ対策 工事は鋼矢板で締切りポンプ排水により施工するが、周辺井戸への影響を考慮し、排水は隣接調整池に放流し地域の井戸水位を極力下げない工夫を行った。水位低下の傾向が見られた場合には、排水先を上下流の調整池に分散させ、井戸水位を確認しながらポンプ稼働を調整し対応した。</p> <p>②水環境への配慮 (工事排水のpHや塩分濃度) 井戸利用もあることから、コンクリート打設時のポンプ排水をpH値や塩分濃度が適切かを定期的に測定・確認し、影響がみられた場合は中和剤等を使用し中和後に放流した。</p> <p>③地域住民の生活環境に対する取組 隣接する市道や住宅への粉塵や泥水の飛散防止として2重にネットを設置し、工事車両は時速10km/h以下の走行を徹底させ振動・騒音対策に取り組んだ。また、現場周辺だけではなく事業箇所周辺の市道を含めた広い範囲を、草刈や清掃を進んで行き地域貢献に努めた。</p> <p>④出来形管理 地元対応に特段の注意を払いながら、工事は鋼矢板と切梁に囲まれた狭小な現場内で地下水排除しながらの施工であったが、出来形管理は規格値の50%以内に収める精緻な施工であった。</p>

写 真 等



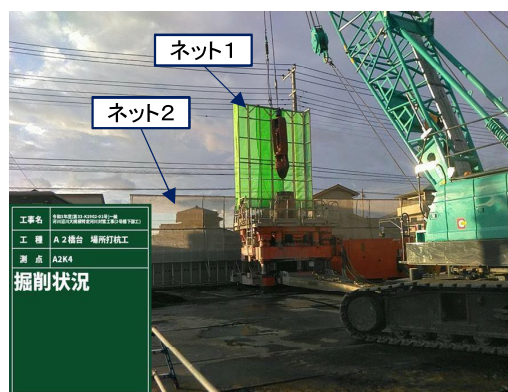
施工箇所周辺状況 (①井戸枯れ対策)



① 仮設工標準横断面図(地下水位)



② pH値測定



③ 防塵ネットを2重に設置



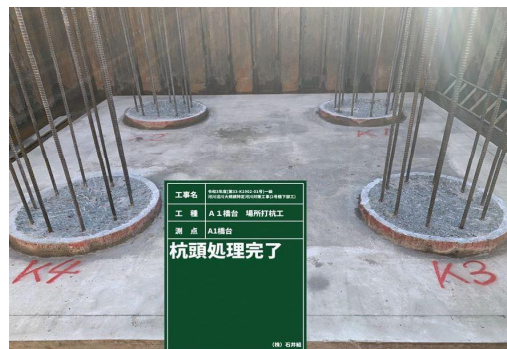
③ 工事車両の走行速度(10km/h走行)



③ 広範囲の草刈実施状況



④ 橋台完成



④ 現場打ち杭完成

優良建設工事表彰

推薦書

沼津土木事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和4年度[第34-D7032-01号] (国) 136号橋梁補修工事(新蛇ヶ橋塗替塗装工)
工 期	令和4年8月16日 ～ 令和5年3月6日
工 事 概 要	橋梁塗装工 N=1式 素地調整(循環式ブラスト工法) A=1061m ² 塗装塗替 下塗り A=1061m ² 塗装塗替 中塗り A=1061m ² 塗装塗替 上塗り A=1061m ²
受 注 者 名	かぶしがいいしや 株式会社 コウノ
技 術 者 名	やまだ まさと 山田 雅人
推 薦 理 由	<p>本工事は、一級河川狩野川水系来光川にかかる国道136号の新蛇ヶ橋において、腐食及び防食機能の劣化が確認された主桁部の塗替塗装工事である。なお、既存の塗装に有害物質の鉛が含有されており、適切な暴露防止対策を講じる必要があることから、循環式ブラスト工法による素地調整を行うものである。</p> <p>担当技術者は、有害物質の暴露防止対策による現場作業員の安全確保、塗替塗装の品質向上に向けた取り組みを積極的に実施した。また、施工箇所は、家屋や商店が近接するDID区域に位置する主要幹線道路のため、細心の注意を払い適切な地元調整を行った結果、苦情もなく無事故で工事を完成させた。</p> <p>これらの取り組みは、他の模範となるものであり、部長表彰の優良技術者部門に推薦する。</p> <p>①現場作業員の安全確保に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足場工には、作業員の安全性と施工性の向上が図られる部材一体型のパネル構造の「セーフティSKパネル(NETIS登録)」を使用し、足場の設置・撤去の作業工程の短縮、交通規制による環境負荷の軽減、足場施工時の転落・墜落のリスク軽減、作業床全面の平坦性確保による作業性の向上が図られた。 ・鉛の飛散防止対策により足場内は密閉・暗所となるため、作業員の視覚と作業環境の確保のため、朝顔部に複数のメッシュパネルと透明なポリカーボネート板の明かりを設け事故の未然防止に取り組んだ。 <p>②塗装の品質向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素地調整の施工が困難なボルト継手部、溶接部、桁端部などには、下塗前に塗布形の素地調整軽減材(サビシャット NETIS登録)を塗布し防錆効果の向上を図った。 <p>③地元貢献に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の利用者が多い本橋歩道部や河川敷において、清掃活動を適時行い、現場イメージアップに繋がった。 ・現場に近接する小学校の遊具の塗替作業や、地域を声を現場に反映させる意見箱の設置など地元貢献の積極的な取り組み、公共工事のイメージアップを図った。

写 真 等

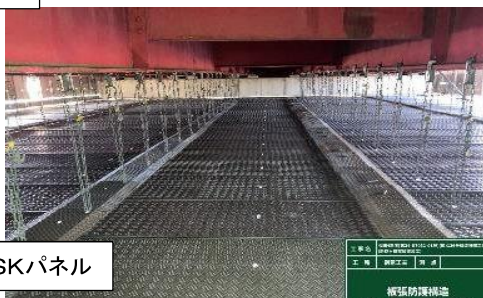
着手前
(下流側から)



完成
(下流側から)



① 作業員の安全確保に関する取り組み



セーフティSKパネル

② 品質向上に繋がる取り組み

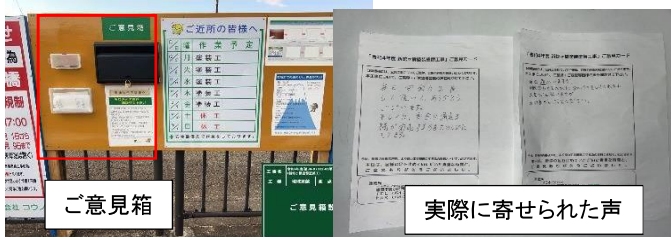


塗布形素地調整軽減材(サビシャット)



作業員の視覚確保の工夫

③ 地元貢献に関する取り組み



ご意見箱

実際に寄せられた声



清掃活動

遊具(塗替前)



遊具(塗替後)



優良建設工事表彰

推 薦 書

島田土木 事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和2年度 [第32-K2510-01号] 二級河川坂口谷川 事業間連携工事 (左岸本体工)
工 期	令和2年10月13日 ~ 令和5年2月10日
工 事 概 要	施工延長 29m 水門本体工 左岸端部堰柱 1式 カーテンウォール工 1径間
受 注 者 名	だいほう おおいとくていけんせいこうじ きょうどうきぎょうたい 大豊・大石特定建設工事共同企業体
技 術 者 名	すぎもと こうへい 杉本 浩平
推 薦 理 由	<p>本工事は、二級河川坂口谷川の河口部に建設する津波対策水門の左岸側本体工 (左岸端部堰柱、カーテンウォール) を建設する工事である。</p> <p>水門建設にあたっては、目標の完成時期に向けて本体工、扉体工、護床工、操作室工及び電気設備工など複数の工事が工程調整を行い施工しており、それぞれの工事において確実な工程管理が求められる現場である。そのような中、各工事の連絡調整会議において取りまとめ役を担い、水門全体の工程管理に貢献したほか、2年5か月にわたる長期間、事故なく工期内に完成させた。</p> <p>また、品質確保、工程管理、地域貢献に関する取組が顕著であり、他工事の模範となるものであり、優良工事部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>【工程管理に関する取組】 底板部コンクリートについて、工期短縮を図るため、打継目をなくし日打設量1,280m³の一回打設とした。3班体制による施工サイクルを計算し、生コンプラントやミキサー車の台数確保など事前に綿密な調整を図り、当初計画どおりの円滑な工事進捗が図られた。 CIMを活用し、本体構造物や仮設構造物を3次元化して表現することで、作業員の理解向上、鉄筋の干渉等の不具合の早期発見につながり品質に寄与した。 台風時の波浪による越波にて現場が浸水する厳しい施工条件であったが、早期に復旧し、工程の遅れを防いだ。</p> <p>【プロジェクト事業に係る技術者としての取組】 「どぼくらぶ」の取組の一環として、高校生や小学生、他土木事務所職員等の現場見学を計11回受け入れ、当日の説明等に協力し、県事業のPRに貢献した。</p>

写真等

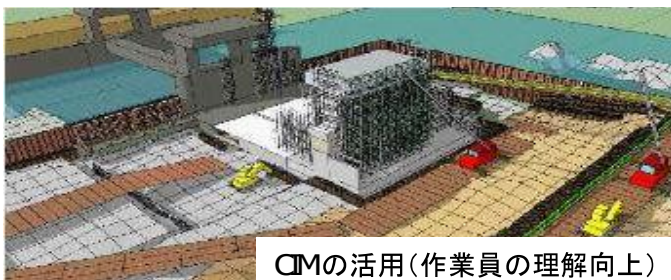
完成



着前



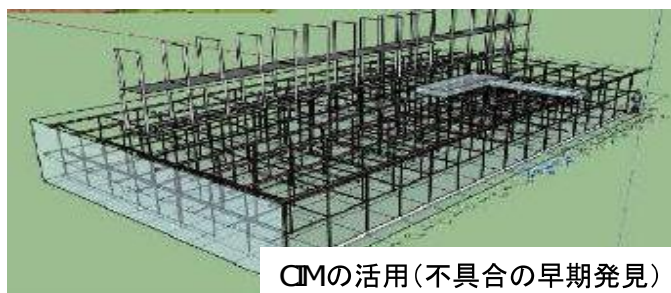
ポンプ車3台による打設状況



BIMの活用(作業員の理解向上)



台風1号(R4.4.15)による仮締切内浸水



BIMの活用(不具合の早期発見)



小学生の現場視察(どぼくらぶ)

優良建設工事表彰

推薦書

袋井土木事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	和3年度 [第33-D7378-01号] (主)相良大須賀線橋梁耐震対策工事 (新川橋) 【11-01】
工 期	令和3年9月27日 ~ 令和4年6月30日
工 事 概 要	P1橋脚補強工 N=1式 A1橋台落橋防止工 N=1式 P1橋脚落橋防止工 N=1式
受 注 者 名	株式会社 ^{まきのぐみ} 牧野組
技 術 者 名	^{うしみ} 牛見 ^{かずお} 和生
推 薦 理 由	<p>新川橋は主要地方道相良大須賀線菊川市下平川に位置し、国交省が管理する一級河川牛湫川にかかる橋梁である。本工事は、橋梁耐震対策として実施するP1橋脚補強工事及びA1橋台、P1橋脚の落橋防止工であり、非出水期において工事を完了させる必要があったため、工程管理が重要となる現場であった。</p> <p>担当技術者は、降雨時等において適切な現場養生を行うことで、降雨後早期に現場を再開させ、非出水期に工事を完成させ、かつ週休2日（4週8休）も達成した。また、想定以上の出水により仮設及び開削していた隣接護岸の一部が損傷した際には、河川管理者（国交省）との協議で現場に適した対策案を提案し、施工計画の柔軟かつ迅速な変更に対応した。さらに、現場には監視カメラを設置し遠隔で24時間現場状況を確認できる体制をとり、適宜監督員への報告等に活用した。これらのことから、優良技術者部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>①工程管理の工夫 降雨時の出水対策で水中ポンプの増設や、ブルーシートによる現場保護を行うことで早期に現場を再開させ、非出水期にかつ週休2日（4週8休）を達成して工事を完了させた。</p> <p>②想定以上の出水に対する対策 ・背面からの湧水と出水により自立ができなくなった土砂に対して仮モルタル吹付を行うことにより、停滞なく施工（橋脚補強工）を進めることができた。 ・出水により護岸の沈下が見られたため、河川管理者から開削していた護岸の早期復旧を求められた。これに対して、当初は「護岸開削→足場設置→橋脚補強工→落橋防止工→護岸復旧」を想定していたが、「護岸開削→足場設置→橋脚補強工→護岸復旧→足場設置（再）→落橋防止工」に工程変更し、護岸損傷の再発を回避した。</p>

写 真 等

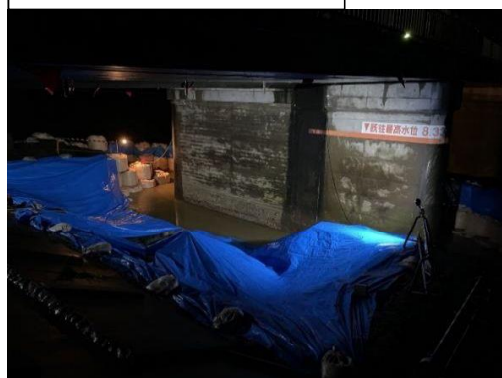
着前



完成



①工程管理の工夫



②出水対策



②出水対策
足場設置（1回目）



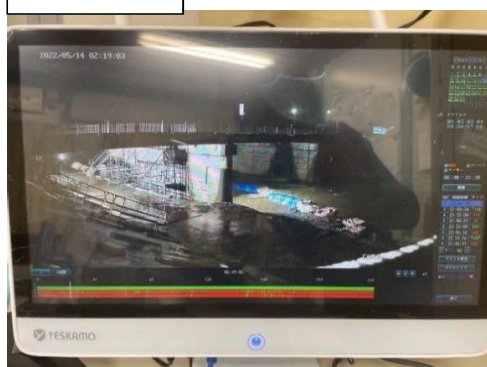
②出水対策
足場設置（2回目）



監視カメラ設置



監視状況



優良建設工事表彰

推薦書

浜松土木事務所

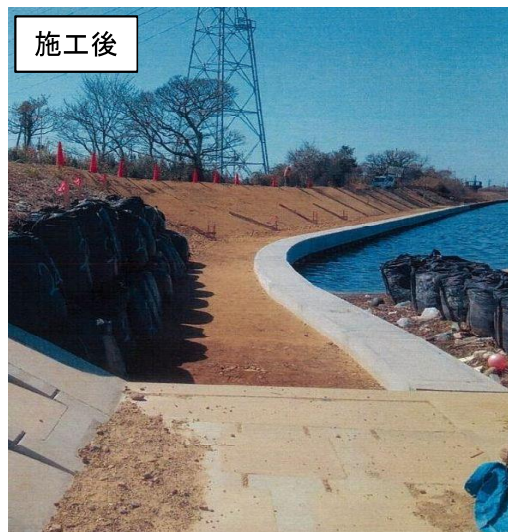
部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和3年度 [第33-K2751-01号] 二級河川堀留川国土強靱化対策（広域河川改修）工事（護岸工）
工 期	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月17日
工 事 概 要	施工延長 L=174m 笠コンクリート L=117m 鋼矢板圧入 N=107枚 鋼矢板打込 N=96枚
受 注 者 名	かぶしがいいしや なかむらぐみ 株式会社 中村組
技 術 者 名	はしもと やすし 橋本 泰義
推 薦 理 由	<p>本工事は、二級河川堀留川河川改修に伴う護岸工事である。現場は水門工事等の複数の工事が輻輳しており、かつ地下水の影響が大きく制約を受ける中、担当技術者は積極的に工程調整を行い、良好な品質及び出来形で工事を完成することができた。また、周辺に養殖場やメガソーラー発電所等が近接、騒音・振動・粉塵等に対する慎重な施工が要求される中、きめ細やかで適切な対応を臨機応変に行い、また周辺住民等への工事の印象も良好にし、苦情や事故もなく円滑に工事を完成させた。この取り組みは他の模範となるため、優良技術者部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>①工程調整会議 毎週、工程調整連絡会議を開催し、関連工事も含めた全体工程管理表を共有することで、安全かつ円滑な工事実施を図った。また、作成した施工箇所周辺のCIMデータや毎月ドローンで撮影した航空写真を施工管理等に有効活用することで工事を円滑に実施できた。</p> <p>②環境対策 現場出入口付近の道路清掃、散水車による粉塵対策、オイルフェンスによる河川への油流出対策、水中ポンプ設置による工事周辺地域の冠水対策等の実施により苦情やトラブルなく工事を円滑に進めることができた。</p> <p>③地元対策・工事PR 現場出入口等への大型掲示板設置、地元や近隣幼稚園等への回覧版配布（毎月）等により積極的に地域とのコミュニケーションを図り、円滑な工事実施及び河川改修事業のPRを実現した。</p>

写 真 等

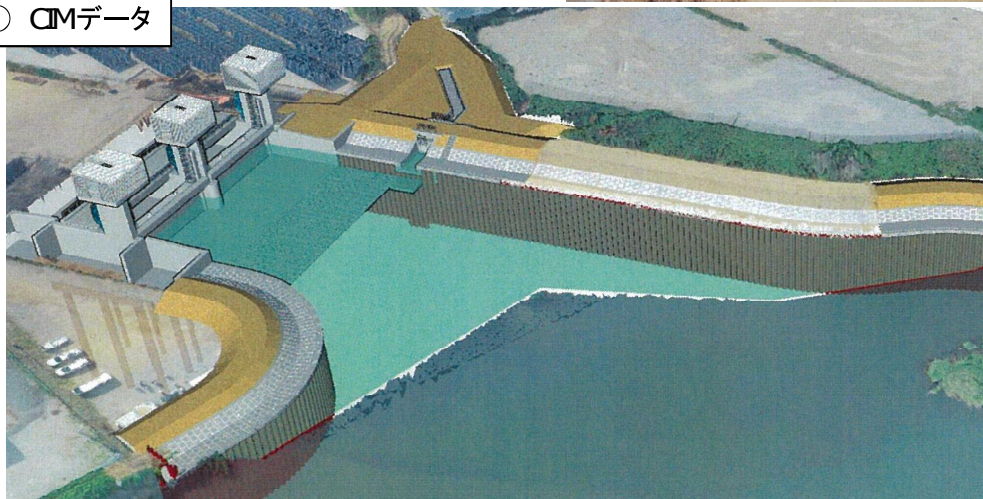
施工前



施工後



① CIMデータ



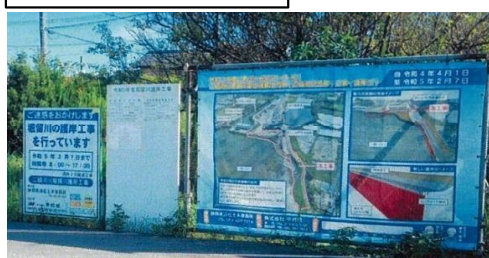
② 散水車による粉塵対策



② オイルフェンスによる河川への油流出対策



③ 大型掲示板設置



③大型掲示板設置



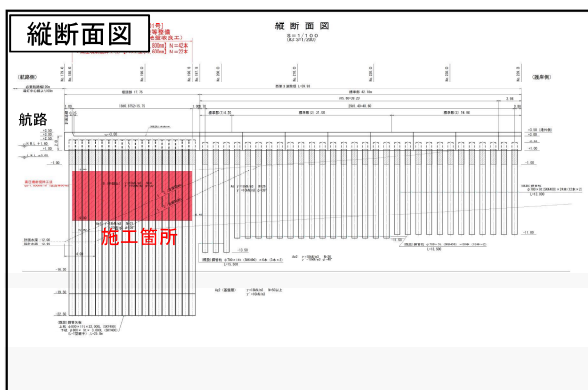
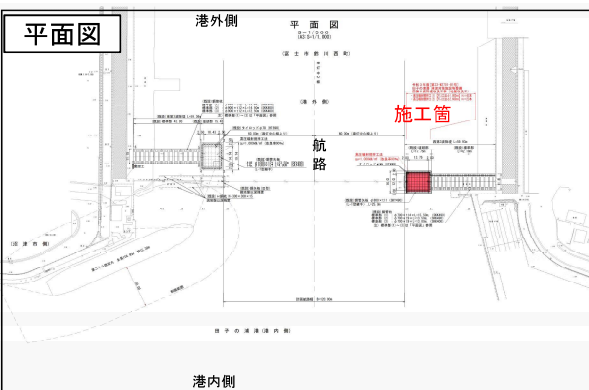
優良建設工事表彰

推 薦 書

田子の浦港管理 事務所

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和3年度 [第33-W2701-01号] 田子の浦港 津波対策施設等整備 西第3波除堤改良工事 (地盤改良工)
工 期	令和3年12月22日 ～ 令和4年9月15日
工 事 概 要	地盤改良工 高圧噴射攪拌工 N=64本
受 注 者 名	だいほうけんせつかぶしがいしや しずおかえいぎようしよ 大豊建設株式会社 静岡営業所
技 術 者 名	やまざき つよし 山崎 剛士
推 薦 理 由	<p>本工事は、田子の浦港港内への津波の流入を最小限に抑える事を目的に、航路部に位置する西第3波除堤を、南海トラフ地震に耐えられる構造となるよう、堤頭部内部の中詰材に地盤改良を実施し機能強化を図る工事である。</p> <p>施工箇所は貨物船及び漁船が行き交う中央航路に隣接し、波除堤上という制限された施工ヤードとなる箇所であり、航行船舶への配慮と海上での安全な施工が求められる難易度の高い工事である。</p> <p>担当技術者は、週休2日を確保しながらも適切な施工管理を行うとともに、関係機関との調整を図りながら、制限された施工ヤードの中で苦情や事故もなく工事を完成させた。また、限られた工程の中で市及び県の行う研修会などに積極的に協力するなど、他の模範となることから優良技術者部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>【適切な施工管理】 地盤改良工を行う際には、通常の施工計画書に加え地盤改良工に特化した施工計画書を作成し、適切な施工管理を行った。施工時においては、施工部の土質に合った形に改良機を改修し、柔軟な対応を行うことにより、工程に遅れを生じさせなかった。また、海上作業時においては航路に隣接していることから、関係機関との調整を図るとともに、往来船舶に応じた施工計画を策定し正確かつ安全な施工を行った。</p> <p>【良好な品質の確保】 施工に必要なプラント施設を離れた堤防上に設ける事を余儀なくされ、セメントスラリーを長距離圧送することとなったが、適切な比重管理や施工状況に合わせたプラント運営を行う事により、完成した改良体の良好な強度を確保することが出来た。また、上部コンクリートの養生にあたり保湿性の高い養生マットを使用し、夏季の炎天下においても良質なコンクリート品質を確保した。</p>

写真等



優良建設工事表彰

推 薦 書

清水港管理局

部 門	優良技術者部門
工 事 名	令和4年度 [第33-W6651-01号] 清水港 緑地等施設整備工事 (新興津暗渠工)
工 期	令和4年5月25日 ～ 令和5年1月31日
工 事 概 要	地盤改良工 L=35.29m プレキャストボックスカルバート据付 L=26.9m
受 注 者 名	すずよ けんせつかぶしきがいしゃ 鈴与建設株式会社
技 術 者 名	さとう たかのり 佐藤 貴徳
推 薦 理 由	<p>本工事は、新興津地区埋立造成箇所に流入する普通河川の暗渠化のためにボックスカルバートを据付けるものである。宿場として栄えた興津地区海側に緑地・人工海浜、小型船溜りを創出し、過去の港湾や道路の整備で失われた街と海との繋がりを回復するとともに、賑わいのある海洋レクリエーション拠点形成を目指し事業を進めている。</p> <p>担当者は地盤改良のICT施工のほか、デジタル技術を活用するなどして施工管理、工程管理を適切に進め、出来形・品質・出来栄とともに優れ、無事故で工事を完了させた。さらに地元小学生見学会や大学生インターンシップ受入を行い、事業の地元周知、建設業のイメージアップ、担い手確保にも貢献した。これらの取組みが他の模範となることから優良技術者部門の部長表彰に推薦する。</p> <p>①デジタル技術の積極活用 ドローン・3Dスキャナで現地地形の点群データを取得し、完成図とともに3Dモデルを構築して協議資料の作成や3Dプリンタによる模型製作を行った。これらを仮設道路の計画検討や、受発注者及び協力会社との施工検討、打合せ協議など多方面に活用した。このようにICT施工以外にもデジタル技術を積極的に取入れ、施工の効率化、円滑化を図った。</p> <p>②輻輳工事との調整 県発注の別工事に加え直轄砂防事務所等の他機関の建設発生土搬入工事などで輻輳する工事間の工程調整等を行う、新興津地区工事協議会の幹事として情報共有や調整を担い、安全かつ円滑に工事を進めた。</p> <p>③地域への広報、イメージアップ、担い手確保の取組 地元興津小学校の5年生を対象とし、現場説明、空中・水中ドローン操作体験からなる現場見学会を実施して、事業の地元周知と建設業のイメージアップを図った。また地元小学生による港内での稚魚放流体験にも参加し、新興津地区の整備概要を説明し事業に対するイメージアップに努めた。</p> <p>さらに地元大学生を対象にインターンシップの受入を行うことで建設業への関心を深めてもらい、将来の担い手確保にも貢献した。</p>

写 真 等



①点群データによる新興津地区3Dモデル構築



①仮設道路の計画検討



①3Dプリンタによる模型を活用した施工検討



②新興津地区工事協議会



③現場見学会(ドローン操作体験)



③インターンシップ受入